

令和3年度高等学校における通級による指導研究大会

11月25日(木)、高知県教育委員会の主催により、「通級による指導センター校をはじめとした高等学校の通級による指導に関する研究成果を共有することで、高等学校における発達障害等のある生徒に対する指導支援の充実を図る。」の趣旨のもと上記の研究大会が、本校体育館を主会場として、本校教員および通級実践校教員ズームによる数校の先生方が参加し、開催されました。

前半部分は、大方高等学校の伊与田先生の「通級授業実践について」と高知北高等学校定時制昼間部の土居内先生の「通級による指導概要、授業実践、卒業後に向けた授業計画」の実践発表がありました。

後半は「高校卒業後の状況と生徒に求められる力～特別支援教育の視点から～」という演題で兵庫教育大学大学院から井澤信三教授をお招きし、ご講演を頂きました。

実践発表会



井澤信三教授の講演



本校は、高知県の高等学校における「通級による指導センター校」として、校内だけでなく、県内の通級による指導の推進に取り組んでいます。

本校の取組につま

しては、定時制昼間部HPの[「通級による指導」パンフレット](#)をご覧ください。

